

輸送障害時における情報共有と案内業務の高度化

【概要】

輸送障害時において、事業者間での運行情報共有と振替輸送手配を支援するシステムおよび、利用者へ経路選択支援情報(迂回経路情報を含む)を提供するシステムを開発し、有効性を検証しました。

【特徴(運行情報共有・振替輸送手配支援システム)】

・振替依頼等の一括送信による業務効率化

簡単な端末操作で振替輸送依頼や運行情報を関連事業者に一括送信することができ、輸送障害時における作業を効率化できます。

・入力負荷の軽減と操作性の向上

提携フォームによる入力、振替パターンの活用等により、情報入力を極力簡単にしました。また、情報を事象別にスレッド表示する機能により複数の輸送障害に対応することが可能です。

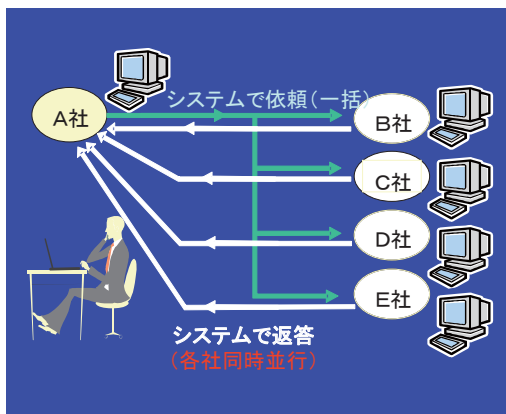
【特徴(経路選択支援システム)】

・運転再開見込みを考慮した所要時間および迂回の適否の案内

運転再開見込みを考慮し、目的駅までの所要時間(通常経路と迂回経路)や迂回の適否(待つべきか迂回すべきか)を提示します。

・多様な案内場面への適用

駅頭における路線図を用いた、不特定多数の旅客向けの表示やPC、携帯電話等による個別的案内の両方に対応可能です。



運行情報共有・振替輸送手配支援システム



検索結果表示例
輸送障害時の経路選択支援システム

【展開】

システムの導入・運用形態に関して各鉄道事業者と協調しつつ検討を進め、早期の実用化をめざします。

運行情報共有・振替輸送手配支援システム



振替輸送手配依頼・返答用画面



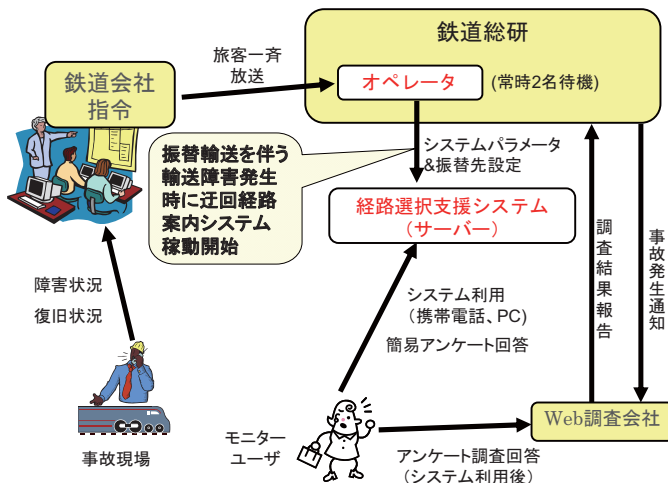
首都圏の鉄道事業者4社によるシステムの評価試験



- ・全般的に好意的な評価
- ・ユーザインタフェースに関する改善要望
- ・事業者ごとに異なる要求

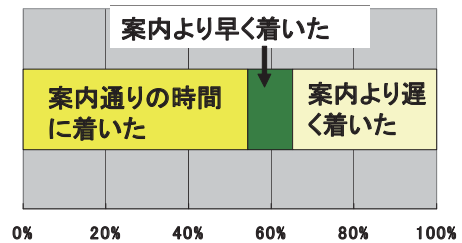
輸送障害時の経路選択支援システム

(JR東日本と共同特許出願中)

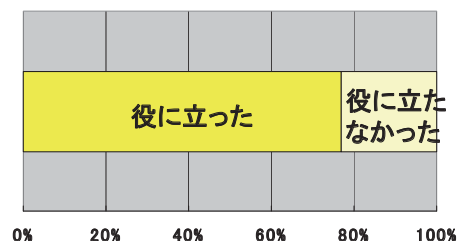


実施期間: 2006.12~2007.1
対象: 首都圏のJR線の高頻度利用者、
回答者: 約450名

システムによる案内情報提供実験の概要



案内内容の妥当性評価結果



システムの有用性評価結果